

CS相中通信

子供を守る図書館 ～地域の方からのメッセージ

2学期が始まる頃、子供たちが危機を迎えることがあります。以前、そんな状況に心を痛めたある図書館員の方が、「学校が始まるのが死ぬほどつらい」と感じている子供たちに、「学校を休んでに図書館にいらっしやい」、とつぶやき大きな反響を呼んだことがありました。図書館には、つらいときにつらさを和らげたり、元気を出したりするためのヒントになる本がたくさんあるからです。今年も、中日新聞が若い記者さんの体験記や掛川の書店の呼びかけなどを紹介する記事を出しました。そして地域の読み聞かせボランティアの方がそれを学校に紹介してくださり、本校の図書館に掲示することになりました（写真上）。本校にも、新聞記事で紹介されている本があると、本校図書館の司書である鈴掛さんが図書館に展示してくれました。この夏休み明けの出席率は高く、順調なスタートが切れたように見えますが、人知れず悩んでいる生徒がいるかもしれません。図書館は誰に対してもさりげなく手をさしのべてくれる場所です。



いろいろな行事等がいっぱい2学期。活発で活動的な学校が戻ってきました。今は、月末に予定されている七耀祭体育大会の練習が体育の時間や昼休みなどに行われています。定着度調査もあり、部活動の新人戦も控えています。そんな忙しい学校生活の中、2学期も地域ボランティアの皆様のお読み聞かせが行われました（写真下）。生徒たちは心を落ち着けて本の世界を楽しんでいるようでした。



※ CS=コミュニティ・スクールとして地域に開かれた学校、地域と一体となった学校教育を目指します。